



未来を夢見て Season 2

2021/11/22 No. 111

全校授業 2年「お手紙」を参観して

「すごい子供たちですね。」

校長室に戻ってくるなり、視察に訪れていた富士原参事さん（大和町教育委員会）からお褒めの言葉をいただきました。

たぶん参観した先生方皆さんが同じような感想をもたれたことと思います。11月22日（月）、2年3組五十嵐先生の全校授業です。校内研究としての授業の検討会は24日に予定されているので、そちらに任せるとして、授業での子供たちの姿は間違いなく私たちが目指しているもの、と言っても過言ではないと思います。

五十嵐先生は、授業でたくさん子供たちを褒めています。しかも褒めながら、どうして欲しいの

か、どうすれば褒められるのかをしっかりと子供たちに伝えているので、自然とその姿勢が子供たち身に付いてくるようです。さて、グラフは、かなり乱暴ですが私的な見解の1単位時間（45分）の中での授業の指導内容です。小学校では、1年生から6年生まで同じ45分間で1単位時間を行います。45分の内容は、当然学年の発達段階によって違ってきます。

私は低学年は、教科の価値を身に付けさせることも大事ですが、それ以上に学習の構えをきちんと身に付けさせることがもっと大事だと思っています。

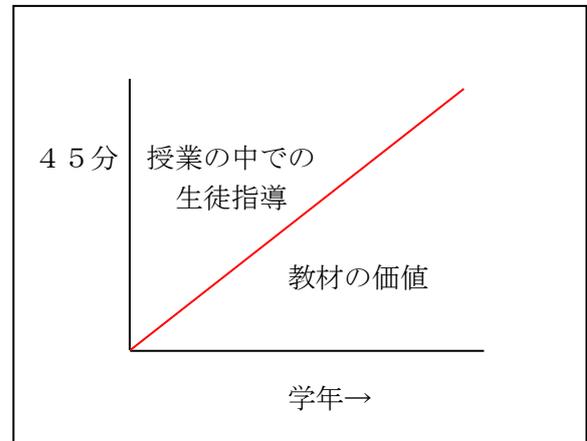
- ・名前を呼ばれたら返事をする
- ・（話し手を見て）話をしっかり聞く
- ・先生と同じ速さで板書の文字を書く
- ・発問にはしっかり考える

当然、低学年の方がこれらの指導には時間がかかりますが、これらの構えができていけばこそ、高学年に進むにつれて、質の高い学び方を身に付けることができるのではないのでしょうか。

また、五十嵐先生の指導技術で特筆すべきは「遊び」を上手に取り入れていること、まさか、がまくんがコーヒーを飲んだりコーラを飲んだりする訳はありませんが、多少の遊びが子供たちの好奇心を喚起する瞬間を先生方もご覧になったことと思います（※ただし、遊びが過ぎると「脱線」するので要注意です）。

研究のベースに学級づくりがあることは、これまでもお伝えしてきたとおりですが、五十嵐先生はまさに授業で学級づくりを行い子供たちを育てていること、皆さんも感じたことと思います。

校内研究も残すは12月7日の指導主事訪問のみとなりました。当日授業を提供していただく先生方だけでなく、私たち研究同人一同にとって学びの多い1日となりました。これまで研究主任として校内研究をリードしてきていただいた五十嵐先生、授業提供ありがとうございました。



（文責：手代木）